

広報
おみた
たま
第196号



小川の「祇園祭」

小川の祇園祭は1530年頃に園部城主によって始められたと伝えられています。神輿渡御、山車や獅子の巡行があり、賑やかなお囃子も響き渡ります。当家祭などの神事は小美玉市無形民俗文化財に指定されています。



今月の表紙



小川坂下青年会の会長である藤崎洋介さんと次男の虹明くん。二人のような後ろ姿がまちにあふれる日が、早く来ることを願います。



お祭りが大好きな虹明くんはお気に入りの獅子頭も一緒に持ってきてくれました。

次の世代へつなぐ

伝
統

への
想
い



地域のまつりや年中行事は、古くから私たちの日常と非日常のリズムを生み、住む人々に生きる活力を与えてきました。新型コロナウイルス感染症の拡大により開催が難しい中、次の世代に想いをつなぐ若者の姿がありました。



竹原の「アワアワ祇園」

江戸時代前期に園部川上流で伝染病が流行し、原因だと噂された牛ごすてんのうの頭ごしんたいの金幣きんべいが園部川に流され、竹原村に流れ着き祠を建てて祀りました。御神体が寒さで「アワアワ」と震えていたとの言い伝えから「アワアワ祇園」と名づけられました。



写真・紹介文:「小美玉市体験型観光PR動画DISCOVER OMITAMA夏祭り編」より



祭りの様子が見られます！

ダイヤモンドシティ小美玉
公式YouTubeチャンネル

他にも
いろいろな
動画を
公開中！

全国的にも祭りや年中行事は後継者不足に悩みながら、伝統を絶やさぬために地域や団体が努力を重ねています。今回は小美玉にある二つの祇園祭と創作太鼓団体に焦点を当て、コロナ禍の中で奮闘する若者取材しました。

次の世代につなぐ

7月に入ると、お囃子や太鼓の音が鳴り出し、夏祭りの季節が来たと感じます。そんな毎年の風景がコロナ禍で一変しました。私たちの暮らしは大きく変わり、特に、人が集まる行事は中止や規模の縮小を余儀なくされました。地域の祭りや伝統行事などの年中行事もその影響を受けています。

コロナ禍の年中行事

祇園祭



夏の合図

「小川の祇園」は毎年7月の中旬に開催される素鷲神社の祭礼として多くの人に親しまれています。小学生の頃は夏休みが始まったその日が小川の祇園。2歳の頃から祭りに参加して、太鼓を叩きたい、笛を吹きたい、獅子を振ってみたいという想いを持ちながら、実の兄や近所のお兄さんたちに太鼓を教えてもらいました。練習が進むにつれ、祇園祭への気持ちが盛り上がっていったことを覚えています。

22歳の時に、憧れていた東京に引っ越ししましたが、離れている間もときおり地元や祭りに顔を出していました。10年前に地元に戻ってきて、最初は祇園祭への参加に不安もありましたが、昔からの仲間や先輩たちが温かく迎えてくれました。改めて地元の良い、祇園祭の良さを再確認できました。

初めての試み

令和2年には自分が青年會の會長を務めていた坂下町が年番町になり、九町の青年會で組織する「大獅子會」の代表になりました。例年、大獅子會の合合は祇園祭中に行われる「大獅子パレード」の打ち合わせのみでしたが、コロナの影響で祇園祭の規模が縮小される中、代表として素鷲神社を盛り上げたいという想いが募り、初めて九町の代表を集めてパレード以外の合合を持ちました。その中で九町の代表たちも自分と同じ想いを抱いていることを知りました。

コロナ禍でも素鷲神社での神事は行われていたので、その際に九町の獅子頭を展示することを決めました。素鷲神社の宮司さんと総代長に大獅子會として展示を行いたいことを相談すると「ぜひ、やろう」と背中を押してくれました。代表を務める不安がある中で本当にうれしかったです。



小川坂下青年會會長・大獅子會代表
ふじさき ようすけ
藤崎 洋介 さん (39歳)

受け継ぐ思いを次の世代へ

息子は1歳の頃からベビーカーに乗って祇園祭に参加しています。獅子を通る場所を散歩すると祭りを思い出して「ここに獅子があるよ」と話してきます。息子のためにも、祇園祭をやりたいという気持ちは大きいです。自分が子どもの頃感じたことや教えてもらったことを次の世代に伝えたいです。



令和3年に初めて行った獅子頭の展示



上:父と子の祭りの支度
下:取材協力:Dins, C(デ'インズ カフェ)田木谷259-3



祇園祭の写真を見ながら伝統への想いを語ってくれました。(左:平成15年、右:令和元年)

アワアワ祇園



祇園を通して大人を知る

竹原アワアワ祇園では、5町(上町・横町・仲町・裏町・坂下)で御神輿おみこしを回し、上町と坂下の子ども会が「子ども獅子」を行っています。自身も小学1年生の頃に初めて参加して、小さな太鼓から始まり高学年になると大きな太鼓を叩いています。当時は子どもがたくさんいて活気がありました。6月に入ると練習が始まり、地域の大人に教えてもらい、練習を通して大人たちと顔見知りになっていったのをよく覚えていま

麦のわらを燃やす、非日常感

神様を暖めるために各家の前にある麦藁むぎわらを燃やすのが竹原アワアワ祇園の特徴です。早すぎず、遅すぎずに燃やすタイミングが大切。藁が燃えさかる中を御神輿おみこしが通る様子は非日常感にあふれていて好きな場面です。

ふるさとを離れて知った現状

大学進学とともに地元を離れ、28歳の時に家業の仕事を継ぐために地元へ戻り、上町青年部に入りました。久しぶりの祭りは自分が子どもの頃に体験した祭りとは違って驚きました。御神輿おみこしを担ぐ人や子どもが少なかったからです。上町の子ども会だけでは子ども獅子が行うことができず、他の町内に声をかけて子ども会に入ってもらいました。また、子ども獅子を動かす時も上町青年部が協力してくれています。こうした現状に、祭りを続けられるのかという危機感を感じています。

色褪せない体験

コロナ禍により、祭りが開催できていない状況は、子どもたちの中で祭りを体験できない空白の期間ができてしまうということ。祭りは夏の風物詩です。現代の子どもたちには遊



竹原上町青年部役員・子ども会会長
にいほり かずひこ
新堀 一彦さん (40歳)

ぶツールがたくさんあります。しかし、汗をかいて練習して、当日に向けた高揚感や祭りでしか味わえない体験です。地元で祭りがあつたことを体験してもらうことが、地域の伝統を次の世代につないでいくために大切だと思えます。子どもが少ない状況を変えるのは難しいですが、だからこそ、いつでも始められるような体制にしておくこと、それが今の自分の目標です。



ひびき かい
長男の日々樹くん(右)と次男の佳生くん(左)



子ども獅子で太鼓を叩く長男の日々樹くん(右)



燃やした藁の上を歩く御神輿

コロナ禍から次のステージへ

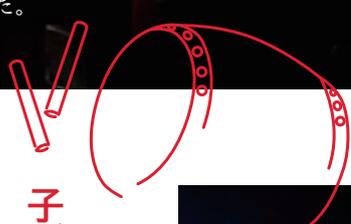
響鳴太鼓まつり

～ 銀河の向日へ～



日本の伝統楽器「和太鼓」。その歴史は古く、日本を代表する伝統楽器とされています。小美玉市には「創作太鼓」という形で和太鼓に情熱を傾ける「創作和太鼓集団みのり太鼓」「小川太鼓」「玉里創作太鼓」という3つの太鼓団体があります。今回、コロナ禍の中で「小川太鼓」と「玉里創作太鼓」の有志による「響鳴太鼓まつり実行委員会」が立ち上がり、6月5日(日)に「響鳴太鼓まつり～銀河の向日へ～」が開催されました。その委員会の中心を担う、「玉里創作太鼓」の若き太鼓打ちに伝統楽器である「和太鼓」への思い、そして次の世代への想いを聞きました。

写真提供:響鳴太鼓まつり実行委員会



子どもたちの成長の場をつくる



響鳴太鼓まつり実行委員・玉里創作太鼓会員

こだま まさひこ
児玉 将彦さん (30歳)

小学5年生の時に玉里創作太鼓が学校に演奏に来て、体育館に響き渡った和太鼓の音に惚れて入団を決意しました。平成16年に入団してからこれまで、周りの大人たちから学び、時には助けてもらいながらここまでやってきました。

コロナ禍により公演の自粛が続く中で、新しい和太鼓の祭りを作りたいという想いが募りました。公演は一人ではできません。大変なのは承知でしたが、「小川太鼓」の浅野彩夏さんと一緒にそれぞれの団体のまとめ役の人たちに相談しながら、有志による実行委員会を立ち上げました。公演後、お客様から「今後もやってほしい」という声をいただき、開催して本当に良かったと感じました。今回の公演で自分のテーマは運営側を頑張りたいから、子どもたちの成長の場をつくることでした。和太鼓は人を育てます。子どもたちに太鼓の楽しさ、和太鼓の良さ、曲の良さを伝えることが次の世代につながるために大切だと思っています。受験などの理由で太鼓から離れた子がまた戻ってきてくれることが何よりうれしく、想いを伝えた結果だと思っています。



生涯学習課で文化財係を担当する本田信之さん

小美玉の伝統と年中行事

広報おみたま「小美玉市の歴史を知ろう」のコーナーで小美玉の歴史を伝えている市職員の学芸員に市内の伝統行事の継承について聞いてみました。

伝統の継承が地域づくりの一助に

私たちの身近にある伝統文化は、さまざまな時代背景や人と人の関わりの中で生み出され、今まで伝え守られてきた「みんなの財産」と言ってもいいかもしれません。しかし、近年、少子高齢化や生活スタイルの変化により、次の世代に伝えることが難しくなっています。さらに昨今のコロナ禍はそれに拍車をかけています。

市内では特色のある盆行事として「盆綱ほんづな」がいくつかの地区で行われています。茨城県内では霞ヶ浦と北浦周辺、酒沼と酒沼川流域、牛久沼や小貝川流域などに限られ、小美玉市では他の市町村よりも多くの地区で行われています。盆綱は子どもたちが藁で作った綱を引いて墓地と家々との間を歩き、お盆にご先祖様の霊を送迎するもので、担い手は「子どもたち」です。こうした伝統文化を伝えることは、子どもたちを中心とした世代間の交流が盛んになり、地域づくりにも役立つ側面もあります。そうした意味でも次の世代に伝統を伝えることは大切だと思います。



上馬場区で行われている盆綱。地域の大人が作製し、子どもたちが墓地まで運ぶ。こうした伝統行事もコロナ禍で開催見送りや規模縮小の状況が続いている。



小美玉市の下馬場区にある鹿嶋神社や小川の祇園祭で使用される御神輿や踊屋台など、神社や祭礼に関係する建築を手がけた大工棟梁の「雨ヶ谷八十吉」。今年生誕150年にあたり、その節目に八十吉が手掛けた神社と祭礼の建築に焦点をあてた参考展が、小川資料館で開催されます。

生誕150周年

小川資料館参考展
小川で
受け継がれる
神社と祭礼
大工棟梁 雨ヶ谷八十吉
入場無料

令和4年
開催期間 7月9日(土) - 8月28日(日)
開館時間は9:30から18:00まで
※7月18日、8月11、13、14日は17:00まで
会場 小美玉市小川資料館 展示室 (小川図書館2階)
休館日は月曜日(7月18日は開館)と7月19、29日
小美玉市小川1664-2 ☎0299-58-5828
会期中に素鷲神社祇園祭のDVDを上映します。
7月16日(土)、24日(日) 各日とも11時と14時に上映します。
8月 7日(日)、27日(土)

担当
しています



小川資料館職員のと和久法子さん

歴史だけでなく、そこに関わった人たちの想いがあるからこそ伝統が繋がっていると思えます。会期中は10年ほど前に撮影された素鷲神社祇園祭のDVDを上映します。コロナ禍で祭礼の規模は縮小されていますが、足を運んで、伝統の一端を感じてみてください。

全国5位



審査員講評より

- 当たり前すぎて説明しにくいSDGsを、漫画でわかりやすく説明。「知る」「買い物する」「展開する」の構成がいい。項目別に「今日からできるアクション」をまとめ、市民の具体的な行動を促している。
- 「大人の手本は子ども」と、環境問題のポイントを突いている。
- 完成までの手間が多い漫画をあえて用いることで、わかりやすく伝えようとする姿勢を感じた。



ほくたち
全国デビュー!?



初出場で初入選!
SDGsを漫画で解説

自治体広報の甲子園「全国広報コンクール」に茨城県代表として初出場した広報おみたま2021年9月号が、第5位にあたる入選に選ばれました。全国広報コンクールは自治体広報のレベル向上のため毎年開催されているコンクールで、優れた作品の表彰を行っています。市はこれまで、映像部門で2019年(平成31年)に特選、2021年(令和2年)に入選を受賞していますが、広報紙部門へは初出場での初入選となりました。

入選号の特集は「実は身近なSDGs」と題し、市内在住のチョークアーティストRIKAさんの漫画を通してSDGsを楽しく伝える内容です。漫画を活用したわかりやすい解説と、具体的な行動を促す構成などが評価され、受賞に至りました。

広報おみたまは「もっと小美玉を語りたくなる」をコンセプトに、市民が手に取りたくなる広報紙を目指して、今後も工夫をこらした紙面づくりに取り組みしていきます。

SDGs特集
スマホでも読めます



これまでに受賞したシティプロモーション全国表彰



平成31年全国広報コンクール
映像部門 特選・総務大臣賞



小美玉ヨーグルトストーリー



全国シティセールスデザイン
コンテスト2019 大賞



ダイヤモンドシティ小美玉デザイン



令和2年全国広報コンクール
映像部門 入選



ダイヤモンドシティ小美玉2020



シティプロモーションアワード
2021 金賞



対話の文化を土台として事業を展開

問い合わせ 企画調整課シティプロモーション係 ☎0299-48-1111 (内線1234)



滝平二郎生誕百年記念プロジェクト
実行委員長

小玉 知子さん(新田木谷区)

本来は昨年9月に開催予定も、新型コロナ感染拡大を受け延期に。今年4月に再始動し、8月28日の公演に向け、6団体総勢23名で準備を進めている。「ひこうせん」おはなしの会代表。



絵本「モチモチの木」で知られる滝平二郎さん。会場となる生涯学習センターコスモスのどん帳は、筑波山や霞ヶ浦、シラサギなど、滝平さんがふるさとを想って描いた風景です。賛同していただいた玉里写真会による写真展「霞ヶ浦(筑波山)とその周辺」も8月7日から31日まで開催されます。朗読パフォーマンスと合わせてご覧いただき、この地に暮らした滝平さんをもっと身近に感じてもらえたらうれしいです。



旬なあの人に聞く「あなたのダイヤモンドは?」。今回は、きりえ画家の滝平二郎さんをテーマにした朗読パフォーマンスの実行委員長、小玉知子さんにお話を伺いました。

滝平二郎さんが描いた心の風景 「ふるさとの宝」を次世代へ伝えたい

玉里地区出身のきりえ画家、滝平二郎さんの生誕100年を記念して、市内で活動する読み聞かせグループ6団体による朗読パフォーマンス「こんにちには、滝平二郎さん!」を上演します。私たちは日頃から、絵本の読み聞かせで滝平さんのきりえ作品に触れ、「ふるさとの宝」だと誇りに感じていました。昨年の広報おみたま4月号で組まれた滝平さんの特集を見て、「この宝を語りつなぐために私たちが何かしなくては」と思い、プロジェクトを立ち上げました。朗読パフォーマンスは、「モチモチの木」ソ

メコとオニなどの絵本や滝平さんの随筆集の朗読を組み合わせて、作品と生涯をたどる内容です。普段は聞き手の想像力の邪魔をしないよう、感情を込めすぎずに朗読することが多いのですが、プロに演出してもらったこのパフォーマンスはとてもドラマチック。オカリナーの演奏をはじめとして、観客を楽しませる工夫がちりばめられています。稽古も佳境を迎え、より良いものになりましょうとみんなで頑張っています。たくさんの方に、郷愁を誘う温かなきりえの世界を感じていただきたいです。

塗り替え・外装リフォーム専門店
地元×適正価格×安心

石岡・小美玉エリア / **初**
外装ショールーム
OPEN!

石岡市の塗装屋さん
(有)中嶋塗装工業

石岡本社 石岡市半ノ木14159-5 ☎0299-57-1641 住宅診断・お見積り**無料**
小美玉店ショールーム 小美玉市羽鳥2727-11 ☎0299-57-2485 **中嶋塗装工業** 🔍検索

棚一枚でもお気軽にどうぞ!

株式会社 笹光建設

〒311-3416 茨城県小美玉市与沢253-37
TEL 0299-54-0618 FAX 0299-54-0421
www.sasamitsu.co.jp/

ささみつ 🔍検索

新築/増改築/小さなリフォームなど

仲間と一緒に楽しい学びを 3年ぶりの開講！ ふれあい大学



- 1 シルバーリハビリ体操（講師：シルバーリハビリ体操指導士会）
- 2 グラウンド・ゴルフ（講師：グラウンド・ゴルフ会員）
- 3 料理（加瀬美代子講師）
- 4 園芸（大山広行講師・飯島武夫講師）
- 5 フラワーアレンジメント
（大越和子講師、協力：フラワーアレンジメント ぼらの会 ボランティア）
- 6 絵手紙（久保田紀子講師）
- 7 スマートフォン（東ヶ崎鈴子講師）

市内在住の高齢者層を対象とする令和4年度ふれあい大学を開講し、「シルバーリハビリ体操」、「グラウンド・ゴルフ」、「料理」、「園芸」、「フラワーアレンジメント」、「絵手紙」、「スマートフォン」の第1回講座を実施しました。

新型コロナウイルス感染症が拡大して以来3年ぶりの開講となったことや、今年度新たに「スマートフォン」講座も募集に加わったこともあり、ふれあい大学全体で160名を超える多くの申し込みがありました。参加者からは「久しぶりに皆で活動できて楽しかった」、「講座での学びを活かし、今後の生活を充実させていきたい」などの声を聞くことができました。それぞれの講座は、11月（グラウンド・ゴルフは12月）まで継続して実施していきます。

問い合わせ 小川公民館 ☎ 0299-58-3111

お盆前の畳・襖・障子貼替え受付中



たたみ・ふすま・障子はもちろん！
住宅の困り事は何でもご相談ください！

住宅総合リフォーム

・トイレ・浴室・キッチン・洗面台等の水廻り
・外壁塗装・屋根・増改築・手摺取付・壁紙
・カーテン・床フローリング・サッシ・外構工事

リフォームイシイ 検索

リフォーム イシイ

創業160余年の信用と実績

(株)イシイリフォーム 石岡市大谷津3-10 ☎ 0120-141-593

コラボレーションもご相談ください

安達建具 株式会社

小美玉市羽鳥2738-108

☎ 0299-46-0205



KOGEI IBARAKI 伝統工芸品
「いばらき組子」認定





令和4年 春の叙勲

元小美玉市消防団長 **井上十三夫さん**が**瑞宝単光章**を受章

元小美玉市消防団長 井上十三夫さん（堅倉・写真左）が、これまでの功績が認められ瑞宝単光章を受章し、喜びの報告のため市長を表敬訪問しました。

井上さんは、昭和57年から38年間にわたり消防団活動に貢献。平成30年からは小美玉市消防団長として地域消防の充実に尽力されました。誠にありがとうございます。

瑞宝単光章…公務等に長年にわたり従事し、成績を挙げた方に授与される勲章。



問い合わせ

消防本部総務課 ☎ 0299-58-4541(内線 112)

安全・安心な地域へ

小美玉市消防団第3分団の**新しい詰所**が**完成**しました

小美玉市消防団第3分団（羽鳥地区）の詰所が完成し、5月14日に開所式が行われました。

新しい詰所は、美野里橋から国道355号（バイパス道路）をつなぐ道路沿いに位置しているため、災害時は多方面に迅速に出動することができます。小美玉市消防団第3分団の更なる活躍が期待されます。

問い合わせ

消防本部総務課

☎ 0299-58-4541(内線 112)



携帯電話・スマートフォン・インターネットに関わる事ならなんでもご相談下さい！

NTT docomo ドコモショップ小美玉店

〒319-0106
小美玉市堅倉1598-21
☎ 0120-135-224
営業時間 10:00 ~ 19:00
定休日 第2火曜



NTT docomo ドコモショップ石岡店

〒315-0014
石岡市国府4-6-12
☎ 0120-570-360
営業時間 10:00 ~ 19:00
定休日 第2水曜



待ち時間緩和の為、ご来店の際は予めご予約をお願い申し上げます。従業員一同心よりお待ちしております。

小美玉市選挙管理委員の改選 新しい選挙管理委員が決まりました

任期満了による小美玉市選挙管理委員の改選に伴い、新しい委員が次のとおり決まりました。

委員長	篠原 成美
委員長職務代理者	谷島 和
委員	大山 進
委員	福田 ゆかり
補充員	伊野 美也
補充員	菊地 稔
補充員	青葉 宏一
補充員	川崎 明祐

(任期：令和4年6月20日～令和8年6月19日)



左から福田委員、大山委員、谷島委員、篠原委員長

■選挙管理委員の役割

選挙管理委員は、選挙が公正かつ厳正に行われているか管理することが主な仕事です。小美玉市長選挙や市議会議員選挙をはじめ、衆議院や参議院の国政選挙、茨城県知事選挙や県議会議員選挙など、小美玉市が執行するすべての選挙を管理しています。また、選挙のとき以外にも、市民の皆さまの政治意識を高めるための啓発活動などを行っています。

問い合わせ 小美玉市選挙管理委員会 ☎ 0299-48-1111(内線 1274・1275)

教育委員を任命しました

教育委員の任期満了に伴い、以下の方を任命しました。

山口 和弘(下玉里・写真中央) 再任
小仁所 浩(与沢・写真左) 新任

■教育委員とは

教育委員会は首長から独立した行政委員会で、本市では教育長1人、教育委員5人で構成し、教育行政の基本方針や重要事項を審議・決定します。委員は教育・学術・文化に対して見識を有する人の中から選ばれ、議会の同意を得て市長から任命されます。



問い合わせ 教育委員会事務局(教育企画課) ☎ 0299-48-1111(内線 2212)

無料査定! その場で現金買取
買取専門店
ジュエルカフェ

貴金属・金券 買取強化中!
詳しくは店頭スタッフまで!

※写真はイメージです

本誌をお持ち頂いたお客様限定!
査定のみでも日用品プレゼント!

買取専門店 ジュエルカフェ
ショッピングモールアスタ店
〒311-3431 茨城県小美玉市川中子 872 ショッピングモールアスタ1F
国道355線沿い TEL: 0299-37-1225
セイミヤアスタ玉里店 本田生花苑と並び

うちの子「結婚」しないのかしら?
独身のお子様の結婚相談承ります

お子様の結婚に関するお悩み、
プロの仲人がお答えします。

まずはお気軽に仲人にご相談下さい

☎ 029-835-3751

結婚相談所 ムスベル



学校紹介 竹原小学校

学校教育目標：
自ら学び自ら考え 心豊かに人と関わることのできる たくましい児童の育成



1 オンラインによる学級懇談会 2 第76回入学式 3 改修工事終了後の体育館と外トイレ

🏠 紹介します！わたしの学校



竹原小学校
6年
中島 しずく さん

竹原小は、明治6年に創立した歴史ある学校です。7年前に校舎が新しくなり、今年も体育館も改修されてきれいになりました。昨年度から授業や家庭学習で一人一台のタブレット端末を利用して、絵を描いたり、写真を撮ったりしています。みんなの考えを端末を通して知ることができ、勉強が楽しく、おもしろくなりました。コロナ禍が続いていますが、みんなで集まってできる運動会、社会科校外学習などの学校行事を楽しみにしています。

🏠 特色を生かした教育活動



竹原小学校
福田 浩一 教務主任

一人一台のタブレット端末を活用し、対話的な学びやSDGsの教育活動を推進しています。特に、全校児童187名の小規模校の特色を生かし、田植えや稲刈り、ふれあい集会など、学年を越えた縦割り班での活動が充実するよう、取り組みを進めています。

また、保幼小中の連携を深め、同じ校舎内のよつば幼稚園との合同運動会や交流学习の充実に引き続き努めていきます。

問い合わせ 教育指導課 指導係 ☎ 0299-48-1111 (内線 2231)

畳は最高の床材です！

	税込価格
畳表替	3,800円～
アミ戸張替	大サイズ 2,300円
障子張替	厚口紙 大サイズ 2,500円
襖貼替	2,750円～

私がお伺いします **相川畳店** ☎0299(26)0669 石岡市旭台 1-15-1

相続 遺言

不動産の名義変更
抵当権の抹消登録
相談料 (は) 頂いておりません

司法書士 市ノ澤事務所
☎0299-56-4333
茨城県石岡市鹿の子4丁目5番1号
茨城司法書士会所属 司法書士 市ノ澤 創

小美玉市の歴史を知ろう 57

小川で受け継がれる神社と神輿
— 大工・雨ヶ谷八十吉 —

雨ヶ谷八十吉

鹿嶋神社、素鷲神社の神輿など、小川の神社やお祭りに関する建築は、地元出身の大工棟梁が手がけています。今から150年前の明治5年(1872年)、現在の小川に生まれた雨ヶ谷八十吉です。大工職人の父から神社建築の技術を学び、他の職人とともに仕事に励む中で、八十吉は建築の技術と理論を体得していきます。父の死後、八十吉は自らの技術を二層磨きつつ、棟梁として腕をふるいました。八十吉が手がけた建築の一部を、関係資料とともにご紹介します。

鹿嶋神社



鹿嶋神社 拝殿

下馬場地内に鎮座する鹿嶋神社は、大同2年(807年)、現在の場所に社殿が造営されたと伝わりま



鹿嶋神社 獅子鼻下絵

社を想う多くの人々の尽力がありました。

す。江戸時代には小川、馬場など周辺の村12郷の大鎮守となり、明治5年に郷社に列せられました。

大正15年(1926年)、拝殿の屋根葺き替えなどの修繕工事が、八十吉ほか2名の大工棟梁と職人によって始まりました。現存する下絵から、八十吉は虹梁の端を飾る獅子鼻を製作したとみられます。

拝殿修繕工事は、昭和2年(1927年)に完成しました。同年8月には、小川城主を務めた戸沢政盛の子孫にあたる戸沢正己子爵により、宝刀が納められました。先祖の戸沢政盛は、天正年間に焼失した鹿嶋神社を再建した人物です。神社修繕の背景には、地域のお

素鷲神社神輿

小川の夏を彩る祇園祭。祭礼に欠かせない神輿は、神様が町内を巡るときに乗り物です。現在の素鷲神社の神輿は大正14年に新造され、昭和59年(1984年)に改修されたものです。この神輿は八十吉が製作を手がけました。

現存する立面図には、装飾を抜いた神輿の全体像が描かれています。寸法や指示書きなどの書き込みや、一段ずつ丁寧な描かれた桷組みなどは、八十吉も手を加えたと思われま。神輿と真摯に向き合う棟梁の姿が想像できます。



素鷲神社 神輿図面

神輿完成の翌年、素鷲神社にて神輿の遷宮式が行われました。この時の集合写真には、神輿や関係者の一人に八十吉も写っています。写真からは、神輿を前に誇らしげな気持ちで伝わってくるようです。

神社・お祭りと関係する建築は、地域の大切な歴史であり、誇りです。人々により、現在に至るまで大

切に守り伝えられてきました。この先の未来にも、脈々と受け継がれていくことでしょう。



神輿遷宮式(大正15年)に参列する八十吉(2列目の右から2番目)

語句解説

郷社 旧社格の一つ。府県社の下、村社の上に位する。

虹梁 社寺建築に用いられる、やや反りを持たせて造った化粧梁。

桷組み 社寺建築の柱上にあり、軒を支える部分。斗(四角い部材)と肘木(舟形の部材)を組み合わせて構成する。

【開催中】小川資料館 参考展
小川で受け継がれる神社と祭礼
— 大工棟梁 雨ヶ谷八十吉 —
詳しくは7ページをご覧ください

季節を詠む、
時流を詠む

四季の歌



美野里短歌クラブ

うきうきと里に帰りし嫁の顔遠い昔の吾が面影か
喜びや悲しみさえもとどまらず季節はめぐり時は流るる
初めてのネット通販試みて届いた服を着たり脱いだり
つぎつぎに親しき友の亡くなりてひとり庭見る春の夕暮れ
桜花茨城は今が盛りなり種類ちがえて暫し咲きつく

小川短歌会

はつ夏の若葉の梢を吹きわたる風のそよぎよ心はずめり
ポストまで押し車で道遠しせて雨だけやんでくれたら
眠れねば繻く清張この度も引き込まれては眠らずに読む
分かち合うことの幸せ友よりの粟赤飯の今朝は届けり

玉里短歌会

洗車したその日に鳴きだす雨蛙雨降るなかれせて三日は
全身でここに居るよとケイタイはわれに告げたり身を震るわせて
強い風に倒るる庭の白樺をありがとうねといたわりて伐る
草むらにうす紫のすみれ草見る人々の顔はやさしく
取り来たるキャベツの外葉我が山羊は食まず残せり千からびしまま

寄稿

昔より今は長生きジバーチャン

菱沼清子	菱沼友江	宇都宮和子	碓谷きえ	白根澤清香	石田はる江	根本智恵子	幡谷啓子	中根良子	松田通喜	石橋吉生	齋藤かつみ	高田久子	鶴町文男	深作茂登子
------	------	-------	------	-------	-------	-------	------	------	------	------	-------	------	------	-------

みづうみ俳句会

新緑やまだ歩けそう万歩計
梅雨に入り卓上台の電子辞書
烽火三月ウクライナの春望
しらすぎが食を求めて青田入り
あやめ咲き嫁入り舟に幸あれと
初めての曾孫は男の子よ鯉のぼり(再掲)

みのり俳句会

昭和の日昭和生れの吾れも老ゆ
かたかごやをとめらに名の有る如く
老えるほど母似と思ふ母の日に
とりどりの花競ひ合ふ我が狭庭
柿若葉雲なき空の青さかな

櫛の会

二階から風鈴の音の降りて来る
刈り残し薊一本天を衝く
湖風をぎしぎし鳴らす行々子
下町の訛隠せず江戸風鈴
揚ひばり破調たからか筑波晴

くるみ俳句会

柿若葉隣家に流るピアノかな
老鶯の声に聞き惚れ散歩せり
トコロそば咽なめらかに通りけり
園庭の深きしじまや濃あじさい
混声のふるさと賛歌夏舞台

たまり俳句会

雨もよい蛙の声の押し寄せる
水無月や真珠色せる初蓮根
雨の降る前に草刈り急ぎけり
歌を詠む色紙に梅雨の重みかな
梅雨に入り暮色蒼然続く日々

小美玉川柳会

母つよし店一杯のカーネーション
リユウグウは命と水の玉手箱
ウクライナムンクの叫び世界から
若返る気持ちはあるが身が拒む
夏を待つ花火に神輿今年こそ

長島久美子	榎本喜代子	長島美奈子	三村れい子	長島久美子	友水清子	佐藤清子	島田草心	立原千代	白根澤清香	岡田忠進	塚田妙子	村島禮子	岡村小夜子	小原エミ	信田菊女	島田篁村	城垣睦子	福島邦誉	鶴町文男	野口初江	長谷川光男	松田通喜	矢口友子	江戸忠男	阿久津強	石井昭夫	橋本昇丘	小林悠
-------	-------	-------	-------	-------	------	------	------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	-----

予約
受付中

接種費用
無料

新型コロナワクチン接種

最新情報



終了予定：9月30日

4回目接種の対象者

3回目接種を受けてから5か月以上経過する以下の方

①60歳以上の方

②18～59歳で基礎疾患を有する方など

※基礎疾患を有する方などは事前申請が必要です。申請は電子申請、郵送、窓口で可能です。詳しくは市ホームページをご確認ください。
(1・2回目接種時に申請した方は不要です)

事前申請は
こちらから▶



ワクチン接種の予約方法

接種可能な時期になりましたら、予診票を発送しています。予約には「接種券番号」が必要です。予診票同封の資料や市ホームページをご確認ください。

混雑なし！スムーズに予約できます

ネット予約 接種予約サイト

受付時間 24時間

ワクチン接種コールセンター

☎0299-57-3309

受付時間 8:30～17:00(土日祝日除く)

初回接種(1・2回目接種)、追加接種(3回目接種)を希望する方

予約方法は上記と同じです。予診票が届き次第ご予約ください。

※予診票が無い方は、コールセンターへご連絡ください。

つくばエクスプレス(TX)を茨城空港へ！

TX延伸のための署名活動を展開中！



署名はこちらから

- ①電子署名(個人の場合)
 - ②名簿で署名(複数人の場合)
- ※名簿用紙をダウンロードできます



小美玉市が加盟するTX水戸・茨城空港延伸促進協議会は、つくば駅から茨城空港を経由し水戸までのTX延伸を目的として、署名活動を実施しています。地域発展を見据えた延伸の考え方を、機運の盛り上がりとともに茨城県に伝えるため、ご賛同いただける方はぜひ署名をお願いします。

問い合わせ

企画調整課 TX茨城空港戦略室
☎0299-48-1111(内線1232)

4コマ小美玉暮らし



vol. 22 「コゲ氏のご利益」



小美玉の日常をゆる〜く描く4コマ漫画。小美玉のクリエイターが3か月交代で担当します。



作者紹介 RIKA

市内在住のチョコレートアーティスト・画家。広報おみたま令和3年9月号『SDGs特集』で漫画制作を担当。RIKAチョコレート工房主宰。愛猫こげ助を主人公にした漫画『コゲ氏』もインスタで紹介中。



感染防止対策



広報おみたま

3つのルールを守って
写真撮影しています

直前まで
マスク着用



撮影時は
会話しない



なるべく
短時間で



小美玉市魅力探求授業で、「モチモチの木」のきりえ画家・滝平二郎が小美玉市出身だと知りました。家に帰ったら家族にも話したいです。 中央高校1年生

竹原アジサイまつりに伺いました。映えスポットやパンフレット、見晴台など、見る人に楽しんでもらうための手づくりの工夫がたくさんありました！ 20代



数年前まで小美玉市の病院で働いていました。食べ物が多くて美味しくとても良いところでした。今後も応援させていただきます。 福岡県40代(ふるさと応援メッセージ)

小美玉市の年配の方々とはとても活動的です！介護福祉課で実施している介護予防教室では、いつも元気と刺激をいただいています！ 介護福祉課 花塚(入庁2年目)

広報 おみたま
令和4年7月号

編集・発行 小美玉市役所企画調整課
TEL 0299-48-1111 〒319-0192 小美玉市堅倉835
FAX 0299-48-1199 https://www.city.omitama.lg.jp

